

## 「2005年安全性・信頼性ワークショップ」実施報告

実行委員：土肥正, 藤本由紀夫, 佐藤良一,  
新宅英司, 岡村寛之 (広島大学)

### 1. ワークショップ実施報告

日時：平成17年9月22日(火) 13:00~18:35  
場所：広島大学 学士会館 2F 会議室  
共催：広島大学構造安全・信頼性プロジェクト研究センター  
日本オペレーションズ・リサーチ学会中国四国支部  
日本経営工学会中国四国支部  
協賛：溶接学会中国支部, 中国支部非破壊検査技術振興会  
参加者：約30名

### プログラム:

**13:00~13:10: 開会の辞** 土肥正 (広島大学大学院工学研究科情報工学専攻)

**13:10~13:50: 特別講演** 座長 土肥正 (広島大学大学院工学研究科情報工学専攻)  
パチンコは勝てるのか? - 確率モデルに基づいた解析 -, 河合一 (鳥取大学工学部社会  
開発システム工学科)

**13:50~14:00: 休憩**

**セッション1: 安全性・信頼性の基礎理論** 座長 林坂弘一郎 (広島大学大学院工学研究科  
情報工学専攻)

**14:00~14:25:** Piezoelectric pad sensor for dynamic load measurement, Yukio  
FUJIMOTO\*, Taufiq Arif SETYANTO and Jingxia YUE (広島大学大学院工学研究科社  
会環境システム専攻)

**14:25~14:50:** Forward and backward time of reliability models, Toshio NAKAGAWA  
(愛知工業大学経営情報科学部)

**14:50~15:15:** A multi-objective discrete reliability optimization problem for  
dissimilar-unit cold-standby systems using a genetic algorithm, Amir AZARON\*, Cahit  
PERKGOZ, Masatoshi SAKAWA, Hideki KATAGIRI and Kosuke KATO (広島大学大学院  
工学研究科複雑システム工学専攻)

**15:15~15:25: 休憩**

**セッション2: 建造物の安全性** 座長 岡村寛之 (広島大学大学院工学研究科情報工学専

攻)

**15:25~15:50:**Surface strain distribution measurement by using piezoelectric sensor array, Didik R. SANTOSO\* and Eiji SHINTAKU (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**15:50~16:15:**In-situ estimation of surface crack shape from crack opening displacement by use of NCOD database system, Jingxia YUE\* and Yukio FUJIMOTO (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**16:15~16:40:**Elastic band sensor for large deformation measurement, Taufiq Arif SETYANTO \*,Yukio FUJIMOTO and Kouhei TAHARA (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**16:40~17:05:**Crack propagation simulation with a fixed-mesh finite element method, Rafael DOIG and Shigenobu OKAZAWA (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**17:05~17:15: 休憩**

**セッション3: コンピュータサイエンスにおける信頼性** 座長 新宅英司 (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**17:15~17:40:**ソフトウェア信頼性に影響を及ぼす人的要因に対する品質工学アプローチと信頼性予測に関する考察, 山田茂 (鳥取大学工学部社会開発システム工学科)

**17:40~18:05:**A DP-based checkpointing scheme in real-time applications, Hiroyuki OKAMURA, Kazuki IWAMOTO\* and Tadashi DOHI (広島大学大学院工学研究科情報工学専攻)

**18:05~18:30:**Markovian modeling and analysis of Internet worm propagation, Hiroyuki OKAMURA\*, Hisashi KOBAYASHI and Tadashi DOHI (広島大学大学院工学研究科情報工学専攻)

**18:30~18:35: 閉会の辞** 藤本由紀夫 (広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻)

**18:40~20:00: 懇親会** (北第一福利会館3階 (大学生協))


## 2. 収支報告

別紙参照

## 2005年安全性・信頼性ワークショップ 収支決算報告書

自 平成17年9月20日  
至 平成17年9月26日

収入の部			支出の部		
補助金	日本経営工学会中国・四国支部	20,000	謝金	(日本経営工学会中国・四国支部からの支出)	
	日本OR学会中国・四国支部	60,000		河合一氏(鳥取大学)	10,000
	小計	80,000		中川敏夫氏(愛知工業大学)	10,000
懇親会参加費	(@2,000×11名)	22,000		(日本OR学会中国・四国支部からの支出)	
	小計	22,000		山田茂氏(鳥取大学)	10,000
				小計	30,000
			会議費	会場費(お茶など)	2,412
				懇親会	47,000
				小計	49,412
			交通費	広島-鳥取往復(河合一氏)	18,820
				宿泊費(河合一氏)	3,800
				小計	22,620
合計		102,000	合計		102,032
			残高		-32

萩原兵二郎 

奥山育英 

## 「ソフトウェアマネジメントシンポジウム 2006」

日時：平成 18 年 2 月 27 日 (月) 14:30～17:30

場所：鳥取大学工学部電気電子工学科棟 3F 第 31 講義室

共催：日本 OR 学会中国・四国支部「プロジェクトマネジメントと最適化」研究部会、  
(社)鳥取県情報産業協会後援：鳥取大学産官学研究推進機構「情報・通信」研究領域、  
鳥取県地域情報化研究会 (TAIM)、とっとりネットワークシステム (TNS)

協賛：プロジェクトマネジメント学会中国支部

実行委員長：山田茂 (鳥取大学)


(参加者) 51 名

No.	演題	講師
1	オープンソースプロジェクトにおけるソフトウェア信頼性評価法に関する考察	田村慶信 (鳥取環境大学)
2	航空宇宙用搭載ソフトウェア開発における定量的信頼性評価手法の確立	高木大輔 (三菱重工業 (株) 名古屋誘導推進システム製作所)
3	ソフトウェアプロセス監視活動の取り組みと実施状況	春日君夫 (株)日新システムズ
4	定量化したプロセス改善効果と EVM 情報によるプロジェクト進捗制御とその適用効果	藤原隆次 (富士通周辺機 (株))

## 会計報告

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
・支部交付金	60,000	・講師研究資料作成費 (@15,000×4人)	60,000
合計	60,000	合計	60,000

藤原 兵二郎 

奥山 育英 

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
平成17年度支部シンポジウム会計明細

自 平成18年1月28日

至 平成18年2月28日

番号	日付	費目	摘要	収入	支出	残高	備考
0001	H18.1.28	交付金	支部からの交付金	60,000		60,000	
0002	H18.2.24	講演会費	資料作成費		15,000	45,000	春日氏
0003	H18.2.27	講演会費	資料作成費		15,000	30,000	田村氏
0004	H18.2.27	講演会費	資料作成費		15,000	15,000	高木氏
0005	H18.2.27	講演会費	資料作成費		15,000	0	藤原氏